
逃走中 転生者の恋

翡翠 煉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中 転生者の恋

【Nコード】

N6958Z

【作者名】

翡翠 煉

【あらすじ】

愛桜市で行われる作者&オリキャラ限定の逃走中。

転生者は来た世界でさまざまな世界の原作キャラとふれあいながら、ある転生者に恋をする。

これは、そんなお話と、それに巻き込まれた24名の逃走者の物語。
100分の逃走劇を逃げ切り賞金180万円を手に入れる者は現れ

る
の
か
!

プロローグ（前書き）

今回の逃走中はある別サイトの逃走中を思いだして書こうとしました。

恋愛についてはうまく書けないですが、頑張ります！

プロローグ

side ?? ?

転生してもうすぐ高校2年になる。

様々な人と友達になって楽しく過ごしている。

様々な世界の集合世界に来たと知った時は、いろんな好きなキャラで誰が自分と付き合うことが出来るのかと思った。

しかし、俺が好きになったのはそのようなキャラではない。

前世で全く知らないキャラであった。

知らない作品のキャラかと思ったが、違った。

しかしそんなことはどうでもいい。

どうやら俺は彼女を好きになったらしい。

まったく・・・

自分の気持ちを伝えるんだ！

ゼロスト「・・・恋愛か・・・」

アリア「恋愛・・・ですか？」

ゼロスト「まあ、そろそろ始めようか・・・」

逃走中 転生者の恋

プロローグ（後書き）

はい。ドラマに力を入れています。

ですがミッションも力を入れています！

ん？テレビのパクリ？

最初だけだ！気にするな！

逃走者紹介（前書き）

キャラの詳しい説明は自分で確認しに行ってください。

逃走者紹介

作者 10名

しら

ryouki

疾風の音

霊宮空刀

izumi

ikki

瑞希優羅

相会

アクロス

翡翠 煉

募集オリキャラ 8名

西京圭

折原空

朝霧空也

雷文寺椎名

星空刃夜斗

神谷聖夜

紅真朱璃

相葉真紀

作者オリキャラ 6名

ユウト

シャナ

藍子

ルシア

レミリオ

レミリナ

この24名がエリアを逃げ回る！

ハンターは3体

賞金は1秒300円ずつ上昇。逃げ切れば賞金180万円となる。

エリアは愛桜市 東京ドーム約4個分

エリアには多くの住民がいて、特に学生が多い。

次回！OPゲームスタート！！

オープニングゲーム（前書き）

今回のオープニングゲーム・・・

はい、やっちゃいました。

オープニングゲーム

愛桜学園の学園寮前に集められた12名の逃走者。

「これより、ゲームを始める」

しら「始まりますね・・・」

i z u m i 「ええ・・・」

ユウト「ハンターは3体ですか・・・」

「しかし、逃走者は君たちだけではない」

12人「」「」「」「え！」「」「」「」

すると、モニターがいきなり光出し・・・

r y o u k i 「どういことですか!？」

i k k i 「どうりで人数が少ないと思ったら・・・」

藍子「いったいなにをやるんですか!」

「君たちは2つのエリアに別れて、プッシュゲームを行ってもらおう」

しら「プッシュゲーム？」

ルール説明

逃走者は一人ずつ前に出てボタンをおさなければならない。

押す順番は両方が相談して決めた後、先程のくじ引きの順で決まる。

ハンターが解放された時点でゲームスタート。解放されなかったエリアの逃走者も同時にゲームスタート。

ここからは学園寮前をAエリア、モニターの先にいたほうをBエリアで現します。

Aエリア

しら「僕がジャンケンしていいですか？」

煉「お願いします！」

Bエリア

ikki「ryoukiさんやってくださいよ！」

ryouki「わかりました！」

しら r y o u k i 「「じゃんけん・・・ポイ!」」

しら グー r y o u k i グー

しら r y o u k i 「「あいこで・・・しゅっ!」」

しら チョキ r y o u k i パー

A エリア

しら 「やりました!」

i z u m i 「おお!」

しらさんは後行を選択

B エリア

B エリア一人目は・・・

r y o u k i 「僕ですね!」

r y o u k i さんだ・・・

r y o u k i 「3回行きます!」

ポチポチポチ

セーフ

ryouki 「解放されなくてよかった……」

A
エ
リ
ア
一
人
目
は
・
・
・

圭「俺か・・・」

西京 圭だ・
・
・

ポチポチ

圭「まあ、まだ大丈夫か」

セーフ

B
エ
リ
ア
二
人
目
は
・
・
・

藍子「私ですね」

プ
シ
ユ
ー
ー
ー

B
エ
リ
ア
1
2
名
「
「
「
「
「
は？
「
「
「
「
「

藍子「に、逃げましょう!!」

逃げる逃走者たち・

しかし、逃げ送れたのが一人・
・
・

レミリナ「え、みんな、早いよ!」

ポン

レミリナ 確保 残り23名

Aエリア

しら「えっ! ということ!？」

ルシア「でも・・・ゲーム始まったなら・・・頑張りましょう!」

ピコン!

しら「メールですね・・・」

レミリオ「レミリナ確保・・・」

煉「まあ、皆さん、逃げ切れるように頑張りましょう!」

ゲーム終了残り97分

続く!

オープニングゲーム（後書き）

本当はニムゲームにしようとしたけどこっちのほうが面白いからこっちにしました。

レミリナ「そのせいで私が最初に・・・」

街にいる学生たち（前書き）

ひとつ言い忘れていました。

たとえば自分や自分のオリキャラがあっけなく捕まっても文句は言わないでください。

街にいる学生たち

しら「ん？あれは？」

明久「やっと春休みになったね」

一夏「ああ、そうだな」

しら「え？　あれは・・・学生・・・かな？」

朱璃「あ、i k k iさん！」

i k k i「どうしました？」

朱璃「一緒に行動しません？」

i k k i「いいですよ！」

空「えっと・・・あれは・・・？」

神斗「畜生！　なんでオリ主の俺に誰も振り向かないんだ！」

空「流石に表面だけだとちょっとね・・・」

藍子「あ、折原さん！」

空「あ、藍子さん・・・ちょっと、あれ、どう思いますか？」

藍子「あれ？・・・絶対に無いですね」

煉「うーん・・・ あ、いた！」

箒「まったく・・・なんで私の好意にずっと気付かないんだ・・・」

煉「すいませーん！」

箒「？ 私になにか用があるのか？」

煉「学校楽しい？」

箒「ああ、勿論だ。だが、ムカつく奴もいるがな」

煉「そのひとの名前は？」

箒「美作神斗って奴だ」

煉「そうなんですか・・・」

ゼロスト「そう言えば、あれが届いてるとか・・・」

フアリア「はい、ありますよ!」

ゼロスト「よし、エリアに設置する!」

エリアに設置されたのは・・・

8組のペアベストであつた・・・

残り90分

続く!

街にいる学生たち（後書き）

ベスト登場！

通達 賞金獲得の確率をUPせよ! (前書き)

Q マリオは出ますか？

A 出ます

質問者&解答者 翡翠煉

通達 賞金獲得の確率をUPせよ！

ピコン！

しら「誰か捕まったんでしょか・・・通達1？」

ryouki「エリアに8組のベストが設置された」

空刀「逃走者がペアとなり、ベストを着ると、どちらかが賞金を獲得すればもう一方も賞金を獲得できる！」

煉「ただし、制限として、男女のペアでなければベストを着ることはできない」

通達1 賞金獲得の確率をUPせよ！

ゲーム終了残り75分までエリアに設置される8組のベスト。

それを着たペアのうち、どちらかが賞金を獲得すれば、もう一方も同額の賞金を獲得できる。

ただし、一方が自首をすればもう一方も自首扱いとなる。

また、男女のペアでなければベストを着ることは出来ない。

因みに、逃走者の男女は、

男

しら r y o u k i 疾風の音 靈宮空刀 i z u m i i k k i
アクロス 相会 翡翠煉 西京圭 朝霧空也 星空刃夜斗 神谷
聖夜 ユウト レミリオ

女

瑞希優羅 折原空 雷文寺椎名 紅真朱璃 相葉真記 シャナ 藍
子 ルシア レミリナ（確保済）

i k k i 「朱璃さん行きませんか？」

朱璃 「はい！」

早くもペアが出来て行く・・・

煉 「もしもし、ペア作らない？ あ、有難う。じゃあ学園前で」

スタッフ 「誰と電話したんですか？」

煉 「藍子です」

スタッフ 「それは何故ですか？」

煉 「足早いですし・・・信頼出来ますし・・・」

電話でもペアが出来て行く・・・

優羅「あっ！ 椎名さん！」

椎名「あっ・・・優羅さん。どうしました？」

優羅「ベストやりますか？」

椎名「まあ、ペアがいたら・・・」

優羅「そうですね！」

しら「誰と電話しようかな・・・」

電話をする人を迷っているしらさん・・・

その近くに・・・

ハンター・・・

しら「ハンター！」

気づかれるまえに離れる・・・が

ハンター「！」

見つかった・・・

しら「！ 逃げて下さい！」

しらさんの前方にいたのは・・・

空也「せっかくベストがあっただが！」

空也だ・・・

しら「逃げましょう！」

空也「もう逃げてる！」

しら「分かれ道です！」

空也「別れるぞ！」

ハンターが行った先は・・・

空也「な！」

ポン

朝霧空也 確保 残り22名

ピコン！

しら「あ・・・空也さん捕まっちゃった・・・」

i k k i 「学園前に・・・ありました！」

朱璃「ベスト着ましょう！」

ピッ！

「承認」

i k k i 紅真朱璃 ベスト（赤）獲得 ペア成立

ゲーム終了残り82分

続く！

通達 賞金獲得の確率をUPせよ! (後書き)

キャラの口調が変わったらすぐに教えてください。

通達 ベスト争奪戦(前書き)

シャナ・アイリーン

逃走中 二つのギルドと神秘の森に参戦予定

ラインアースシリーズに多きな波乱の種の一人。

通達 ベスト争奪戦

シャナ「あ、ryoukiさん」

ryouki「えっと・・・シャナさん。ベスト着ます?」

シャナ「是非」

煉「おい! 藍子!」

藍子「いきますよ!」

ポチッ

「承認」

翡翠煉 藍子 ベスト（緑）獲得 ペア成立

煉「それじゃ!」

ルシア「しらさん!」

しら「ルシアさん、ベスト着ますか?」

ルシア「勿論です!」

ポチッ

「承認」

しら ルシア ベスト（オレンジ）獲得 ペア成立

しら「頑張りましたよ！」

ルシア「ええ」

ryouki「よし、行きますよ」

ポチッ

「承認」

ryouki シャナ ベスト（青）獲得 ペア成立

疾風の音「あ、あの人は・・・」

疾風の音さんは誰を見つけたのか！

残り78分

続く！

通達 ベスト争奪戦(後書き)

ペア成立の回

通達 ペアは誰と誰!?

疾風の音「あれは・・・椎名さんとi z u m iさん。あの二人でペアを組むのか・・・?」

i z u m i「早く行きましょう!」

椎名「ええ!」

優羅「あ、ユウト!」

ユウト「優羅さん、ペア組みます?」

優羅「はい!」

圭「空! ベストは!?」

空「行きましょう!」

レミリオ「あ、相会さん!」

相会「・・・あれ? さっき確保ってでませんでしたか?」

レミリオ「それは・・・いろいろあったたんですよ」

相会「そうなんですか・・・」

その背後に・・・

ハンター「・・・」

ハンター・・・

レミリオ「にしても、あなたの逃走中とても面白かったですよ!」

相会「あ、ありがとうございます!」

ハンター「!」

見つかった・・・

レミリオ「ええ、特に　って、逃げてください!」

相会「え!」

しかし、ハンターとの距離が短く・・・

ポン

レミリオ「ああ、終わっちゃった・・・」

レミリオ　確保　残り21名

相会「作者で最初に捕まった・・・」

相会 確保 残り20名

ピコン！

ユウト「確保情報ですか・・・」

ikk i「！相会さんも・・・」

しら「やっぱり逃走中ですね・・・」

作者陣からも確保者が出て、改めて気を引き締める逃走者たち・・・

izumi「ありました！」

椎名「ここに指を・・・」

ポチ！

〔承認〕

izumi 雷文寺椎名 ベスト（黄）獲得 ペア成立

そして・・・

ユウト「ありました!」

優羅「これが・・・って無い!」

izumi「あ!すいません!」

優羅「いいですよ! 謝らなくても!」

学園前に設置されたベストは3組。すでにこのベストは無い・・・

圭「ここだ!」

空「いきますね!」

ポチ

「承認」

西京圭 折原空 ベスト(白)獲得 ペア成立

そして・・・

通達終了まで

5

4

3

2

1

ベスト消滅

ペアが成立したのは以下の6組！

i k k i 紅真朱璃 (赤)

翡翠煉 藍子 (緑)

r y o u k i シャナ (青)

しら ルシア (オレンジ)

i z u m i 雷文寺椎名 (黄)

西京圭 折原空 (白)

残り75分

続く！

転生者

しら「ん・・・あれは？」

??? 「生きるって素晴らしいー！」

しら「あの、あなたは？」

??? 「えっ！ い、今のきいちゃってましたか!？」

しら「でも、そうですよね」

??? 「はい！ あ、私は学峰^{まなみね}彩羽^{いろは}です！」

しら「彩羽さんですか、いい名前ですね！」

彩羽「ところで、今は暇ですか？」

しら「どうしてですか？」

彩羽「ペンダントを落としてしまって・・・」

しら「特徴は？」

彩羽「私の好きな銀色とピンク色であしらった星型のペンダントなんです・・・」

ここらへんで落としたと思うんですよ・・・」

しら「えっと・・・ あ！これですね！」

叢の中が光っていて見つかったようだ・・・

彩羽「ありがとうございます！ 大切な物だったので・・・

今はこれしかできませんが、あとで改めてお礼させて下さい！」

しら「え、別にいいですよ・・・」

彩羽「遠慮はしないで下さい。それでは！」

しら「・・・紙ですね・・・」

紙を手に入れたしらさん・・・

i z u m i 「あ、煉さん」

煉「i z u m i さん！ ベスト着てるんですね！」

i z u m i 「はい！ これからも頑張りましょう！」

そのころ、プロローグに登場した人物—うえさぎ ゆうた上崎勇太— は・・・

勇太「よし、今日こそ告白しよう・・・」

勇太「そのためにもあれを予約しておいたから・・・」

そして、彼が家を出た時、ある異変に気づいた。

勇太「魔力溜まり？」

???「告白!? オリ主を差し置いて、そんな事をさせるか!」

ゼロスト「勘違い転生者か・・・」

草焰「ところで、魔力溜まりはどうします？」

ゼロスト「ミッションに使用する!」

エリアに現れたのは、6色の魔法陣・・・

???「!?!? 妨害された!? いや、オリ主の力は邪魔されない。
なにかの偶然だろ・・・」

ゼロスト「うざいな。 あいつを呼んでおくか」

ピコン!

圭「メール・・・ミッション1！」

アクロス「エリアの6ヶ所に魔法陣が設置された」

椎名「それぞれの魔法陣の色は逃走者が着たベストの色と連動している」

シヤナ「残り60分までに魔法陣を消さないと、その色のペアの居場所を通報し続ける！」

ミッション1 連続通報を阻止せよ

エリアに現れた魔法陣は逃走者のベストに連動して、6色ある。

ゲーム残り60分になると、そのペアの位置を通報し続ける。

それを止めるには、それぞれの場所にある魔法陣に、ペアと一緒に一定時間魔法陣に乗り続けなければならない。

しら「・・・ですよー」

残り69分

続く！

ミッション1 魔法陣

ryouki「魔法陣は・・・桜橋か・・・」

桜橋とは、このエリアを二つに分離している川に架かる、唯一この川を渡ることができる橋である・・・

優羅「みんなー、頑張ってねー」

ベストを着ていない逃走者にとっては、ミッションは関係無い・・・

煉「魔法陣は・・・上崎宅」

疾風の音「ん？」

神斗「ああ、いいところにいいやつがいるな。ボソリ 君、これを勇太って男に渡して欲しいんだ。あとでお礼するから」

神斗が渡したのは黒ずんだ緑色の宝玉であった。

疾風の音「あ、はい・・・」

疾風の音 宝玉獲得

神斗「（渡す奴は誰でもいいんだ 俺に飛び火しなければ野郎なんてどうなっても構わねえ）」

しら「学園前の魔法陣、これですね！」

ルシア「どれくらい乗ればいいんでしょうか・・・」

シュイン！

魔法陣 オレンジ 消滅

しら「それでは！」

ルシア「逃げ切りましょう！」

勇太「ラブレターとか自分で渡すのって恥ずかしいよな・・・」

ユウト「あの・・・」

勇太「!?! いや、違うんですよ別にやましい気持ちとかは!?!」

ユウト「両思いになれるように頑張ってください！」

勇太「それだったら、お願いがあるんだけど・・・俺の代わりにこれを彼女に渡してほしいんだ！」

ユウト「はい、分かりました！」

ユウト 手紙獲得

ユウト 「因みに、誰に渡せばいいんですか？」

勇太 「学峰彩羽っていう可愛い女の子だ。 頼む！お礼もするから！」

ユウト 「わかりました！ 待っててください！」

残り66分

続く！

ミッション1 魔法陣（後書き）

疾風の音さん。すいません。

ミッション1 ペアのミッションと依頼主の頼み（前書き）

ペアの確保者が出しづらい。

ミッション1 ペアのミッションと依頼主の頼み

疾風の音「あ、すみません！」

明久「あ、こんにちは！」

疾風の音「あの、勇太さんはどこにいますか？」

明久「まって！連絡するから！ ああ、もしもし？うん。あ、わかった、じゃあね。家の近くで体操してるって。あ、家はここね」

疾風の音「わかった、ありがとうございます！」

上崎勇太の所に向かう疾風の音・・・

空刀「あ、ユウト」

ユウト「空刀さん！ 彩羽さんの居場所知りませんか？」

空刀「彩羽？分からない」

ユウト「ありがとうございます！」

圭「白い魔法陣は・・・ここか！」

空「よし！」

シュイン！

魔法陣白 消滅

i k k i 「朱璃、魔法陣消すよ！」

朱璃 「ええ！」

シュイン！

魔法陣赤 消滅

疾風の音 「勇太さん！」

勇太 「？ 何か用があるのか？」

疾風の音 「神斗って人からこれを渡せって言われて・・・」

勇太 「・・・ありがとう」

勇太 「（可笑しい、この人は騙されてる！

恐らくこの宝玉は盗聴！）」

疾風の音 「あの、どうかしたんですか？」

勇太 「ああ、なにもない」

r y o u k i 「シャナさん！」

シャナ「桜橋についた」

r y o u k i 「さて、魔法陣に・・・」

シュイン！

魔法陣青 消滅

ユウト「彩羽さん！ 受け取って下さい！」

彩羽「知らない人からのラブレターを受け取ると思う？」

ユウト「僕からじゃないです！ あなたを愛している人からです！」

彩羽「あの人だったらいいな・・・」

手紙を見た彼女は、ある場所へと走っていった・・・

残り62分

続く！

ミッション1 通報開始

煉「あ、r y o u k iさん・・・」

r y o u k i「翡翠さん!」

煉「ミッションクリアしましたか?」

r y o u k i「はい・・・そっちはどうですか?」

煉「まだです・・・」

r y o u k i「急いだほうがいいですよ!」

煉「そうですね!」

といい、走る翡翠煉

ポン

煉「え?」

曲がり角にハンター・・・

翡翠煉 確保 残り19名

r y o u k i「翡翠さん?どうかしました?」

煉「r y o u k iさん逃げて！」

r y o u k i「え、まさか、ハンター！？」

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

r y o u k i「え、ちょっと！」

ポン

r y o u k i「終わっちゃった・・・」

r y o u k i 確保 残り18名

ピコン！

ルシア「メール・・・あ、作者捕まった」

しら「r y o u k iさんまで・・・」

疾風の音「あの、渡して来ましたが・・・」

神斗「ありがとう、これがお礼ね」

疾風の音さんが手に入れたのは捕獲ネット。

網を放ちハンターの動きを一度だけ止めることができる。

疾風の音「誰だったんたろう・・・」

通報開始まで残り

10

9

8

7

i z u m i 「椎名・・・早く来て!」

6

5

4

3

2

椎名「いた!」

1

0

通報開始！

ハンター「！」

椎名「ごめん！」

izumi「それよりも魔法陣を！」

シュイン！

魔法陣黄 消滅

藍子「さすがにハンター来るとは思ってたけど・・・」

ハンター1「・・・」

ハンター2「・・・」

ハンター3「・・・」

藍子「なんで全部のハンターがここにいるの！」

圭「あれは・・・ ってハンター3体もいる！」

藍子「ごめん！」

圭「早っ！」

流石のクローン・・・

ハンター2「・・・」

ポン

圭「全部のハンターから逃げたあいつって・・・」

西京圭 確保 残り17名

ピコン！

空「圭が！？」

藍子「なんとか魔法陣の所に・・・」

シュイン！

魔法陣 全消滅

ピコン！

優羅「メール・・・ ミッション結果」

刃夜斗「ミッション1クリア 全部の魔法陣が消滅した

よかった・・・」

残り56分

続く！

交錯する人間関係

聖夜「お、真紀さん！」

真紀「あ、聖夜さん！」

聖夜「にしても、ハンター見かけたか？」

真紀「さっきハンターがあっちに・・・」

聖夜「って、逃げてきたのか・・・」

そのハンターは・・・

優羅「この町っていい所だねー」

優羅さんだ・・・

優羅「ハンターはいなさそう・・・いた！」

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

優羅「うわっ！」

転んだ・・・

ポン

瑞希優羅 確保 残り16名

優羅「終わっちゃったよ・・・」

ピコン！

しら「今度は優羅さんまで・・・」

ユウト「勇太さん！ 渡してきました！」

勇太「ありがとう！」

ユウト「彩羽さんはどっかに走って行きましたが・・・」

勇太「そうか。だったらこっちも急がないとね、じゃ、これお礼です。ありがとうございました！」

ユウト「これは・・・」

渡されたのは白いブレスレットであった・・・

牢獄トーク

ryouki「お疲れー」

優羅「はい・・・」

煉「これでもう1／3が捕まったな・・・」

レミリオ「このままだと、かなり逃げ切るんじゃない・・・」

勇太「あれを買わないとなにも始まらないな・・・」

それを聞く奴は・・・

神斗「ほう・・・だったらそれを妨害してやるよ!」

勇太「すいませーん! 予約しといたあれありますか!？」

レナ「ああ、すまん! 奴に全部潰された」

勇太「な!」

レナ「すまんが、自分で直してくれ! 私に出来るのは、時間跳躍の能力を貸付ることくらいだ・・・」

勇太「恩にきる!」

ゼロスト「あいつ、最低だな」

ファリア「そうですね! 人の恋を邪魔する奴は馬に蹴られて死ねばいいんですよ!」

ゼロスト「・・・さて、手伝いますか」

エリアに設置されたのは、謎の水晶！

残り50分

続く！

交錯する人間関係（後書き）

結論 二人で話すのはフラグ

ミッション2 お金と時間（前書き）

このミッションの結果によって展開がかなり変わる。

ミッション2 お金と時間

ピコン！

しら「また誰か捕まったのかな・・・ミッション2！」

空刀「エリアに水晶玉が設置された」

アクロス「残り30分までに水晶玉を触り、魔力を送った逃走者一人につき、ゲーム時間が2分巻き戻る！」

izumi「時間が巻き戻されると、賞金も減る。が」

聖夜「5人以上が水晶にさわった場合、ミッションクリア扱いとなり、時間は巻き戻るが賞金は減らず、さらに残り30分まで賞金単価が500円になる！？」

ミッション2 ゲーム時間を巻き戻せ！

エリアの上崎宅付近に水晶玉が設置された。

それ残り30分までに逃走者が触ると30分に触った逃走者一人につき2分が巻き戻る。

5人以上が時間を巻き戻した場合賞金は減らずに、残り30分まで賞金単価が500円になる。

つまり、

0人触る↓なにもなし

1人触る↓ゲーム残り32分に戻る。最高賞金賞金変わらない。

・ ・ ・

4人触る↓ゲーム残り38分に戻る。最高賞金変わらない。

5人触る↓ゲーム残り40分に戻る。最高賞金210万。

以下一人追加されるごとに2分と6万が+される。

（おまけだが、重要で、水晶に触ると先着3名が復活カードを獲得できる）

ルシア「賞金が増える・・・行きましょう！」

シャナ「・・・行こう！」

しら「行ってみよう！」

次々とミッションに向かう逃走者たち。

果たして一番最初に水晶のもとに辿りつくのは誰だ！

残り45分

続く！

ミッション2 お金と時間（後書き）

試しに予約してみた。

ミッション2 おまけじゃなかった(前書き)

ある程度、翡翠オリキャラは俺のことを作者と呼びます。

ミッション2 おまけじゃなかった

一番最初にたどり着いたのは・・・

藍子「これで・・・よし！」

藍子だ・・・

藍子 承認

といい、彼女はカードを取る。

藍子「これで作者を復活させます！」

シャナ「・・・いる・・・」

彼女の近くに・・・

ハンター「・・・」

ハンター・・・

シャナ「・・・水晶・・・行けない・・・」

ハンター「・・・！」

シャナ「・・・あれ？」

ハンターが誰かに気づいた。

しら「うわ！」

しらさんだ・・・

ハンター「・・・」

しら「逃げなきゃ！」

しかし、ハンターの脚力にはかなわず・・・

ハンター「！」

しらさんを確保しようとしたハンターが吹き飛んだ！

しら「え！？ あ！まさか！」

しらさんの持っていた紙は、白から黒になっていた・・・

シャナ「・・・やった！」

シャナ 承認

彼女もカードを取る。

しら「ミッシェンクリアに貢献したほうがいいかな・・・？」

しら 承認

そして、彼は最後のカードを取った。

その頃、飛ばされたハンターは・・・

空「水晶は罠だと思っんですよ」

ヒュウウウウウ

空「時間は戻りますし・・・復活カードも3枚だけですし・・・」

ポン

空「へ？」

良く分かる解説！

落ちて来たハンターが手を伸ばして空の肩に手を置いた。

折原空 確保 残り15名

空「なんだろう・・・もの凄く納得が行かないんですよ・・・」

藍子「牢獄につきました！ あ、この機械・・・本家と同じですね」

ryouki「おお！」

相会「ペアが決まっていますからね・・・」

レミリオ「お願い！ 逃げ切ったら半分渡すから！」

藍子「作者で！」

翡翠煉の顔写真に指を置く。

煉「やった！」

翡翠煉 復活 残り16名

煉「ほんとありがとう！」

藍子「とにかく、頑張って逃げ切りましょう！」

残り39分

続く！

ミッション2 そして時は戻り・・・

次に牢獄にたどり着いたのは・・・

しら「やりました!」

しらさんだ・・・

圭「誰を復活させるんですか?」

しら「ryoukiさんです!」

ryoukiさんの顔写真の上に指を置く。

ryouki 復活 残り17名

ryouki「ありがとうございます! でもどうして助けてくれたんですか?」

しら「共演とかもしてますし・・・」

ryouki「そうですけど・・・ほら・・・」

シャナ「・・・ついた・・・え!?」

ryouki「ペアがきちやったし・・・」

シャナ「・・・誰を復活させれば・・・」

レミリオ「復活させてー!」

優羅「わたしも!」

空「私もです!」

シャナ「・・・決めた」

彼女は優羅さんの顔写真の上に指を置いた。

優羅「わたしですか!?!」

瑞希優羅 復活 残り18名

優羅「ありがとうございます!」

シャナ「・・・どういたしまして」

現在逃走者は18名。

果たして逃げ切る逃走者は現れるのか!

水晶の方には・・・

アクロス「ついたぞ!」

アクロスさんだ・・・

アクロス「これでいいか!？」

アクロス 承認 4／5

聖夜「あ、疾風の音さん」

疾風の音「どうしました？」

聖夜「ミッションどうします？」

疾風の音「やめま、ハンター!？」

聖夜「うわっ!」

パーン!

疾風の音「逃げましょう!」

網を使いハンターの動きを止める・・・

煉「ryoukiさん! なんやかんやで残り1分ですので水晶触りますね!」

ryouki「先どうぞ!」

翡翠煉 承認 5／5 (ミッションクリア!)

r y o u k i 「こっちも!」

r y o u k i 承認 6／5

ミッション終了まであと30秒

疾風の音「逃げた先に水晶が・・・」

疾風の音 承認 7／5

ミッション終了まで

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

ミッション終了

残り30↓44分

続く！

ミッション2 そして時は戻り・・・（後書き）

没ネタ

疾風の音「ハンター!？」

パン!

疾風の音「網が出ない!？」

ポン

疾風の音「だまされた・・・」

没の理由

明らかに酷い。

s c h o o l s t u d e n t s (前書き)

スペルには自信がない。とくに最後のs

s c h o o l s t u d e n t s

ピコン！

ルシア「ミッション2結果・・・」

空刃「7人が承認！　時間は残り44分、最高賞金は222万となった」

煉「2が並んだ・・・」

優羅「あ、本当に学生が多いな・・・」

ニヤル子「真尋さん！　今日こそ二人ででかけたかったと言いましたよね！」

クー子「少年。ぬけがけは許さない」

ハス太「ぼくだって！」

真尋「・・・お前ら、仲良くしろよ。今日はでこぴんロケットが参加するライブを見に行くんだからな・・・」

i k k i 「あ、あれは！ ゲームの話をしてるのかな？」

しのぶ 「ああ、たしかにそのゲームはいいな」

千雨 「ああ、確かにいいな。あの状態のゲームはかなり緊張するな
！」

しのぶ 「なんといっても一回のミスが命取りだからな・・・」

i k k i 「さて、こっちもゲームを頑張らないとね！」

煉 「あ、たこ焼き下さい」

ルーヒー 「300円よ」

煉 「はい！」

ルーヒー 「どうぞ」

煉 「ありがとうございます！」

r y o u k i 「どうしましたか？」

刹那 「カードを探してるのですが・・・探してくれませんか？」

ryouki 「どんなカードですか？」

刹那 「私の姿が映っているカードです！」

ryouki 「あ、これですか？」

刹那 「ありがとうございます！ あ、名前は？」

ryouki 「ryoukiです！」

刹那 「ryoukiさんですね！ これで・・・

この紙を使えば分身が出せます！ 2枚ありますので！」

ryouki 「ありがとうございます！」

残り34分

続く！

煉「たこ焼きが8個で300円って安いよね」

s c h o o l s t u d e n t s (後書き)

半蔵って本当に繋がってるんですね。

恋せよ転生者！(前書き)

ミッション2成功の為、ルートA ラスボス登場ルートへと向かいます。

恋せよ転生者！

刃夜斗「あっ、すいませんでした！」

ryouki「はぐれたってこと？　いいよ気にしないで！」

聖夜「両方にハンターがいる・・・」

彼の道の前と後ろの曲がり角の先にはそれぞれハンターがいる。

聖夜「ここは、前のハンターをかわす！」

ハンター「！」

後ろのハンターが聖夜に接近する！

ハンター「！」

前のハンターも聖夜に近づく。

聖夜「！」

うまく機転を利かせ前のハンターをかわす。が、

ハンター「・・・」

ポン

後ろのハンターに追いつかれた・・・

神谷聖夜 確保 残り17名

彩羽「この手紙・・・」

この手紙には、学校の象徴の一つである虹桜の木の下にいてほしい。という手紙だった。

彩羽「勇太・・・」

ゼロスト「どうやら二人は両思いのようだな。それなら、二人以外の方法でミッションをさせて貰おう」

そして、学園の門の先に・・・

ハンター「・・・」

100体のハンターが設置された・・・

残り35分

続く！

ミッション3 2×2＝2組？

ピコン！

煉「メール・・・ミッション3！」

しら「高校の校内に、100体のハンターを設置した！？」

藍子「残り25分になると、勇太が学校の門を開けて、100体のハンターがエリアに放たれる」

朱璃「阻止するには、門の前にあるハンター転送装置のレバーを4人同時に降ろさなければならぬ」

izumi「ただし、その4人は、同じ色のベストを来た逃走者2組でなければならぬ」

ミッション3 ハンター放出を阻止せよ

校内に現れた100体のハンター。

残り25分になると、上崎勇太が門を開けて100体のハンターを放出させてしまう。

阻止するには、門の前に設置されたハンター転送装置のレバーを4人で同時に降ろさなければならぬ。

しかし、その4人は、同じ色のベストを着た逃走者2組（例えばしら、izumi、椎名、ルシアの4人）でなければならぬ。

因みに、現在残っているペアは、

しら ルシア （オレンジ）

izumi 椎名 （黄）

煉 藍子 （緑）

ryouki シャナ （青）

ikki 朱璃 （赤）

この5組である！

しら「ルシアさん！ ミッション行きましょう！」

ルシア「ええ、装置の所で待ち合わせるわね」

しかし・・・

ハンター「！」

ハンターに見つかったのは・・・

しら「さて、早く向かわないと・・・」

ルシア「見つかった！」

ルシアだ・・・

ハンター「！」

ポン

ルシア「あっ・・・」

ルシアはハンターのいるほうに走って突破しようとしたが失敗した・
・

ルシア 確保 残り16名

ピコン！

しら「メール・・・ルシアさん捕まった！」

i k k i 「いや、もう、この曲がり角の先にハンターがいるんじゃないか？ って思うんですね・・・」

ハンター「！」

i k k i 「本当にいた！」

ポン

i k k i 確保 残り15名

ペアの逃走者が捕まり残り3組・・・

次回、ついに逃走者が決断の時に！

残り31分

続く！

ミッション3 2×2＝2組？（後書き）

逃走者が結構残ってる・・・

ミッション3 新たなベスト そして新年あけましておめでとう！

フアリア「ペアの逃走者がまた捕まって来ましたね！」

草焔「確かに・・・」

ゼロスト「よし、新たなベストを設置するぞ！」

ピコン！

しら「またメールですか。 通達？」

星空「これより、桜橋に新たなベストが設置された」

真記「それを着れば、再度ペアを組み直す事ができる」

桜橋に設置されたベストは3種類。

どうペアを組もうが構わない。

ただし男女ペアである条件は変わらない・・・

期限はミッション3終了まで！

しら「どうしよう・・・」

朱璃「どうすれば・・・」

ペアが捕まっている二人はペアを組み直すかを迷っている・・・

そんな中・・・

優羅「あっ！ ベスト着ましよう！」

ユウト「そうですね、優羅さん！」

前にペアを組もうとした二人が再開した・・・

二人は桜橋に向かう！

ryouki「シャナ・・・」

シャナ「・・・ん？」

ryouki「ハンターいる？」

シャナ「・・・いる」

門に向かう二人と・・・

星空「囧になりますか？」

ryouki「いや、いいよ」

3人の行動は近くのハンターにより制限されている・・・

煉「よし、門についた！」

藍子「まだ私たちだけね」

煉「早く誰かこい・・・」

そこに近づくのは・・・

ハンター「・・・」

ハンター・・・

残り28分

続く！

ミッション3 新たなベスト そして新年あけましておめでとう！（後書き）

煉「新年、あけましておめでとうございます

ことしも、この小説、及び逃走中小説、または翡翠煉を宜しく願います」

ミッション3 HAPPY END? (前書き)

先に言います。

今回の自分は自演だと・・・

ミッション3 HAPPY END?

煉「早く誰か来ないかな・・・ハンター!？」

藍子「逃げま・・・あっ!」

転んでしまった・・・

煉「逃げろ!」

といい、翡翠煉がハンターに体当たりをする。

藍子「! はい!」

翡翠煉 確保 残り14名

煉「これで俺はゲームオーバーか・・・」

izumi「椎名、誰かいるか!？」

椎名「誰もいない・・・後1分半!」

優羅「桜橋は・・・って、ハンター!？」

ユウト「もうミッション終了まで時間がないですね・・・」

r y o u k i 「! 今だ!」

シャナ「・・・大丈夫?」

星空「気付かれてません!」

ミッション終了残り1分

r y o u k i 「間に合わせるよ!」

シャナ「・・・勿論」

i z u m i 「r y o u k i さん! もう時間が!?」

椎名「早く!」

r y o u k i 「はい!」

ガシャン!

100体ハンター 転送

ミッションクリア!

r y o u k i 「よし!」

i z u m i 「これでいいんですね!」

シャナ「・・・疲れた・・・」

椎名「後は逃げるだけ・・・じゃないわね」

勇太「ついた！」

学園につき、門に手をかけて、開ける。

勇太「虹桜の木は！」

彩羽「勇太・・・なにがあつたのかな・・・？」

勇太「彩羽！」

彩羽「勇太、話ってなに・・・？」

勇太「彩羽、俺は・・・お前が好きだ。付き合ってほしい」

彩羽「・・・ちょっと残念かな・・・？」

勇太「へ・・・？」

彩羽「勇太、私は私から告白したかったんだよ？」

勇太「へ・・・!?」

彩羽「勿論、付き合いましょう！」

この日、また新しいカップルが一組生まれ・・・

これで終わるはずだった・・・

ピコン！

ユウト「メール・・・まさか・・・」

優羅「ミッション3 ミッションクリア」

疾風の音「100体のハンターは転送された！」

ゼロスト「あの二人・・・よかったな！」

ライル「いえ、これはまずい展開ですわよ・・・」

ゼロスト「？」

ライル「緑の水晶から、あいつの魔力が感じるんですわ・・・」

ゼロスト「あいつか・・・」

ライル「あいつ、絶対何かやらかしますわよ？」

馬鹿です。死ねばいいんですわ！」

ゼロスト「おいおい・・・」

残り25分

続く！

ミッション3 HAPPY END? (後書き)

次回!

緊急事態!?

逃走中初、全逃走者参加可能ミッション発令!!

勘違い転生者の激怒（前書き）

ゲーム残り25分。

残りは14名で、このままなら逃走成功者が10人ほどか！？

- ・しかし、雲行きがあやしくなっていき、何が起きるか分からない・・・

勘違い転生者の激怒

izumi「それじゃ、4人とも逃げ切れるように頑張っていきま
しょう！」

ryouki「ええ！」

シャナ「・・・勿論・・・」

椎名「ええ！」

アクロス「エリアが暗くなつて来たな・・・」

空刀「なにか悪い事が起きるような・・・」

エリアの雲行きが怪しくなり、風も強くなってきた・・・

ユウト「とりあえず、一緒に逃げますよ！」

優羅「はい！」

しかし、その近くには・・・

ハンター「・・・」

ハンターだ・・・

ハンター「……！」

見つけた……

ユウト「残り25分ですので、まだ何かあると思うんですよ……」

優羅「そうですね……！　ハンターです！」

すでにハンターとの距離は短く……

ユウト「優羅さん、逃げて下さい！」

優羅「え、でも……」

ユウト「アイテムがありますので、もしかしたら大丈夫ですので！」

優羅「はい、頑張ってください！」

ユウト「……さて、このブレスレットはどんな効果なんでしょうか……」

腕を前に出し構える。

ポン

ユウト「駄目でしたー」

ユウト　確保　残り13名

ユウト「このブレスレットって・・・なんだったんだろう？」

そのころ、水晶により一部始終を聞いていたあいつは・・・

神斗「・・・やりやがった！ 告白なんかしやがった！

なんだよ！モブのくせに！あいつなんていらねーよ！

・・・そうだ、この為にあの能力を貰ったんだ。

全ての転生者の能力を使用できる能力。

これを使い、時間を戻してあいつを消してやり直せばいいんだ！」

そして、彼は空間を作り出し、その中で術式を作り始めた・・・

ゼロスト「逆ギレだな」

ライル「逆ギレですわね」

ファリア「逆ギレですね」

草焔「逆ギレだな」

アリア「逆ギレですね」

ゼロスト「ミッションにするの面倒だからもうあいつぶっ飛ばして

いい？」

全員 「「「むしろお願いします！」「」」

ゼロスト 「って！ こっちにまで術式が働いてる！」

ファリア 「こんな所だけ才能があるのが逆に嫌ですね」

ゼロスト 「・・・あ！」

ライル 「どうしました？」

ゼロスト 「いや、これからどうするかは決めた・・・って、術式のせいでプログラムが暴走してる！」

全員修復とミッションの手助けを！」

残り20分

続く！

勘違い転生者の激怒（後書き）

次回、ファイナルミッションスタート！

ファイナルミッション 絶望と希望

ryouki「あつ、しらさん！」

しら「ryouki! どうしましたか!？」

ryouki「これを貰ってください！」

しら「これは・・・ありがとうございます！」

ピコン!

朱璃「メール・・・ファイナルミッション!？」

優羅「エリアのどこかに現れた術式は、ゲーム残り5分になると・・・」

izumi「ゲーム時間がリセット! さらに賞金単価も1秒5円となる!!!？」

空刀「阻止するには、術式を破壊しなければならない」

藍子「また、これよりハンターが5体放たれ、ハンターの数8体となった!？」

ファイナルミッション 時を守れ!

ゲーム残り5分になると、どこかにある術式が発動し、ゲーム時間がリセット。さらに賞金単価が1秒5円(逃走成功3万円)となる。それを阻止するには、術式を破壊しなければならない。

さらに、術式の効果により、5体のハンターがエリアに放たれ、ハンターは8体となった。

しら「これはやりませんと!」

izumi「これは絶対阻止しないと・・・」

星空「これは絶対クリアしませんと!」

シャナ「・・・行こう!」

逃走者たちもミッションを行う・・・しかし・・・

椎名「ハンター!」

ポン

椎名「ここで終わりにするのは・・・」

雷文寺椎名 確保 残り12名

アクロス「！ 挟みうちか・・・」

ボン

アクロス 確保 残り11名

シャナ「・・・来る・・・」

ボン

シャナ 確保 残り10名

疾風の音「うわっ！ハンター！」

ボン

疾風の音 確保 残り9名

エリアには8体のハンター。

逃げることさえ容易ではない・・・

牢獄トーク？

煉「いや、まさかもう10人くらい残るのかなー？　って思ったら強引にハンター増やしてきたよ・・・」

ユウト「作者が言うな！」

相会「にしても、このミッションをクリアできるのでしょーか・・・」

圭「・・・ところで、どうやって術式を破壊するんだ？」

全員「・・・あ！」

ヴィイン

全員「・・・ん？」

ユウト「ブレスレットが光って・・・る？」

ファッ！

全員「!？」

すると、牢獄の中の人の一部いなくなっていた・・・

残り17分

続く！

ファイナルミッション 絶望と希望（後書き）

いなくなった人を募集したいと思います。

戦える人をお願いします。

ファイナルミッション 謎の空間（前書き）

だいたい誰が逃げ切るかとかがきまってきた。

ファイナルミッション 謎の空間

ゲーム終了まで残り17分

ゼロスト「！ この空間は！」

草焰「！ 場所の確定ができました！彼らにメールを送ります！」

消えた確保者たちは・・・

空也「こ、ここは？」

聖夜「どこだ・・・？」

ユウト「5人いますが・・・」

シャナ「・・・何？」

レミリオ「いい気分はしませんね・・・」

ピコン！

ユウト「メールです！ 通達・・・」

聖夜「君たちがいる空間に、ファイナルミッションをクリアする鍵

があるのでそれをとりに行ってほしい」

レミリオ「しかし、この空間で2体のハンターに捕まったり、戦闘不能になれば牢獄に戻る」

空也「是非クリアして欲しい」

シャナ「・・・いくわ!」

しら「! ハンターですね・・・」

ピコン!

しら「! しまった!」

ハンター「!」

気づかれた・・・

ryouki「は、早く逃げましょう!」

しら「は、はい!」

しかし、ハンターとの距離は短く・・・

ryouki「しらさん、あては頑張ってください!」

ポン！

すると、ryoukiさんはいなくなってしまった・・・

しら「ryoukiさんがくれたあれのおかげでなんとか助かりました・・・」

空刀「目の前には2体のハンター、まだ気づいて・・・」

ハンター「！」

空刀「気づかれ・・・」

ポン

空刀「3体に囲まれてた・・・」

霊宮空刀 確保 残り8名

ユウト「ライティングブレード！」

レミリオ「フレイムキック！」

空也 「あの二人がなんか黒い変なやつを倒していつてるけど・・・」

聖夜「ああ、まさかな・・・」

[illegible]

空也「替わりすぎだろ・・・」

聖夜「ああ・・・」

残り13分

続く！

ファイナルミッション 謎の空間（後書き）

シャナは戦闘狂。

ファイナルミッション 逃走者に出来るコト

藍子「ところで、ハンターって8体なんですよね」

「はい」

藍子「私を追っているハンター・・・かるく5人いるんですけど、こんなことあるんですか？」

ハンター×5 「「「「「！」「」「」」」

「そんなことより、前からハンター来てますよ。それも2体」

藍子「なんでここに7体も集まるのよ！」

ハンター×5 ハンター×2 「「「「「・・・」「」「」」」

藍子「いいわ。そこまで言うんだったらノーマルとの違いを見せてあげるわ！」

といい、高く飛び越え・・・

ポチャン！

藍子「着地点ずれた！ ちよつ、足つかない！」

ハンター×7 「・・・（エェー・・・）」

「藍子さん、水路へ落ちたので強制失格です」

藍子「こんなオチに・・・」

藍子 強制失格 残り7名

ryouki「ところで、ハンター8体のくせにあんまり見かけないね」

星空「まさか、殆どのハンターが一人に集中していたり・・・」

ryouki「それはないよ・・・」

大正解！

その頃・・・

レミリオ「ファイアーシュート！」

敵「ギュエエエエ」

空也「はっ！」

敵「ギェ！」

聖夜「手を緩めるな！」

ユウト「アイスブレイン！」

敵「ピキピキピキ」

シャナ「全員私たちにひれ伏せ！！！！

三十花御月」

敵「グリュウアアアアアアア」

ユウト「跡形倒しましたね・・・」

レミリオ「あの扉は・・・」

聖夜「それなら、行くぞ！」

4人「」「」「おお！」「」「」

レミリオ「ここは・・・」

神斗「おお、オリ主の前に来るとは・・・馬鹿だな。死ぬがいい」

次回、ついに対決！

残り11分

続く

ファイナルミッション 逃走者に出来るコト（後書き）

はたして5人は神斗に勝てるのか！

ファイナルミッション 祈り（前書き）

すでに異常気象となっているエリア・・・

はたして逃走者やこの町の人はどうなるのか・・・

ファイナルミッション 祈り

転生者である美作神斗の前には、ボロボロになった5人がいた・・・

レミリオ「く・・・くらえ！」

シャナ「このまま壊されてたまるか・・・」

聖夜「ああ・・・」

空也「お前には負けるかよ・・・」

神斗「おいおい、もう引いてくれよ。流石にいま引けば命はとらないからよう」

ユウト「いや、僕たちは絶対に諦めない！」

神斗「ククク。なら、望み通り殺してやる！」

ゼロスト「・・・あ！ ライル！ ちょっと手助けしてやれ！」

ライル「わかりました！」

ファリア「！ その手がありましたか！」

神斗「これで、終わりだ！ オールオーバー！！」

色が分からない光が5人に向かう・・・が。

ライル「剣の壁！」

突然現れた剣でできた壁に防がれる。

ライル「反撃しますけど・・・5人とも気力はある？」

5人「「「「勿論！」」「」」」

ライル「それにどうやらあのカップルも気づいたようですし・・・」

勇太「！ あいつ・・・俺たちを消す気なのか！？」

彩羽「そ、そんな・・・」

ちよつと、私たちはどうすればいいの！？」

勇太「戦ってる・・・誰かが戦ってる！」

彩羽「誰が・・・？」

勇太「誰かは分からないが・・・この平和な日常を守りたい。そんな気持ち伝わってくる・・・」

彩羽「！ 危ない！」

ドン！

勇太「あ、ありがとう・・・」

彩羽「それより・・・私たち・・・これで消えちゃうの・・・」

勇太「・・・いや、まだ戦ってる人がいる。」

沢山の人間が祈れば、力が戦っている人に届くかもしれない・・・」

彩羽「！ 人を集めましょう！」

プルルル

しら「ん？電話だ・・・」

彩羽「すいません！しらさん！」

しら「あ、彩羽さん。どうかしたんですか？」

彩羽「いますぐ学校に人を集めて下さい！」

この異常気象が止まるかもしれません！」

しら「！ 分かりました！」

しら「とりあえず、一斉にメールします！」

ピコン！

優羅「メール・・・また確保？　！　しらさんからです！」

ryouki「しらさんからのメール・・・」

真記「今すぐ町の人を学校に集めて下さい」

izumi「術式を消せるかもしれません！

！　早く行きましょう！」

全員がしらさんからのメールを見て、町の人を学校に向かわせ、自分たちも向かう。

しら「学校に向かってください！」

明久「あ、うん、わかったよ！」

izumi「ここは危険です！　学校に向かってください！」

一夏「あ、ああ！」

ryouki「学校に行ってください！」

星空「お願いします！」

明日菜「ネギ、速く行くわよ！」

ネギ「僕は空を飛んで一人でも向かわせます！」

アスナさんはすぐに向かってください！」

優羅「お願いです！ 学校に行ってください！」

シャルロット「わかったよ！ 僕はISを使って沢山の人に呼びかけるよ！」

朱璃「学校の方に向かってください！」

レナ「あいつがやらかしたせいで・・・」

真記「学校に向かってください！」

まどか「わかったわ！」

学校に集まった沢山の人たち・・・

勇太「祈ってください！ この超常現象に戦っている人がいますから！」

「！俺たちは戦えないのか！？」

「祈れば救われるのか！？」

「私は死にたくないよ！」

「祈るぞ！ どうせそれしかできないんだから！」

沢山の人がこの気象に戦っている人を祈る・・・

勇太「この祈り・・・ 届け！！！！！」

残り7分

次回！ ミッション終了！ 果たして逃走者やこの世界の運命は！

続く！

ファイナルミッション 恋物語の結末は・・・

パアアアア

6人「!」

神斗「ん？　なんだありゃ？」

レミリオ「なんだ・・・力がこみ上げてくる・・・」

シャナ「暖かい気持ちですね・・・」

ユウト「あいつなんかには負けられないですね・・・」

空也「それならさ、この力を全員でぶつけようぜ!」

聖夜「そうするか!」

ライル「1，2の3で行きますよ・・・」

神斗「おいおい、降参の相談か？」

女3人^{...}が俺の女になれば許してやるよ!」

シャナ「断る!」

ライル「お断りしますわ」

レミリオ「……って、3人？」

神斗「え、だって……お前女だろ？」

といい、ユウトを指指した。

ユウト「……(怒)」

ゴウツ！

5人「「「「!!」(な、なんか凄い気力が……)」」「」」

神斗「(あ、まずった。こいつ男で、女って言われることにコンプレックス持ってやがる)」

ユウト「くらえ！ 魔石の流星群！ 的を小さくバージョン！」

ドーン！

神斗「……ギリギリで耐えた……」

タツ！

空也「くらえええええ!!!!」

ザクツ！

神斗「！ 最初から術式が目的か！ しまった・・・術式が・・・」

パリーン！

ミッションクリア

神斗「ち・・・畜生！」

空間が崩壊を起こし、それぞれのいた場所に戻る。

シャナ「・・・勝って来た」

i k k i「おお！」

聖夜「あ、本当に戻った。二つの意味（場所とシャナの性格）で」

勇太「！ 止まった・・・」

彩羽「やった！」

「「「ワアアアアアア！！！」」」

ゼロスト「……ところで、あいつはどこにいるんだ？」

アリア「あ、奴の近くに……」

神斗「一体俺はなにがいけなかったのか……」

マリオ「お、いたいた、お前がこの世界を壊そうとしたのか」

神斗「任天堂の英雄か…… ああ、そうだ」

マリオ「ああ、一応はな。

ところで、なんでお前が負けたか知ってるか？」

神斗「自分が主人公ではないからだ。主人公はあいつ、上崎だ」

マリオ「……違う。この世界には主人公なんていない。

お前が何故負けたのか……それはお前の戦う理由だ」

神斗「モテる為じゃだめなのか……？」

マリオ「いや、そんなことはない。

お前の目的じゃ、他人が誰も喜ばないからだ」

神斗「……そうかもな」

マリオ「まあ、俺の言いたいことは、なにかするなら他人の1人でもいいから喜ばせろ。」

ということだな」

神斗「！ 決めました・・・」

マリオ「？ どうするんだ？」

神斗「弟子にしてください！」

マリオ「・・・え？」

神斗「俺は絶対にハーレムを作る！ 能力になんか頼らずに、全員を愛し愛される！」

その為に心の修行の為に！ 弟子にしてください！」

マリオ「え、そんなつもりは・・・ さよなら！」逃げる。

神斗「まってください！」追いかける。

勇太と彩羽の二人の恋がどうなったのか・・・

神斗とマリオの追いかっこはどうなったのか・・・

それはまた別の話・・・

ピコン！

しら「メール・・・ミッションクリア！」

星空「術式は破壊され、平和が戻った・・・」

ryouki「しかし、ハンターの数に8体のままである」

ゲームは残り5分。

逃走者7名に対し、ハンターは8体。

賞金は210万を超え、もう少しで222万となる。

しかし、ハンターに捕まれば、賞金は・・・0

逃走者たちの運命は！

次回、ゲーム終了！

続く！

ファイナルミッション 恋物語の結末は・・・（後書き）

今回のマリオの性格については、都市舟ギルドや翡翠町の設定になります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6958z/>

逃走中 転生者の恋

2012年1月9日20時48分発行